

a TAKASHI SHIMIZU film

"RINNE"

YUKA KARINA and KIPPEI SHIINA

ようこそ、前世へ。

輪廻

りんね

優香 香里奈 椎名桔平
杉本哲太 小栗旬 松本まりか 小市慢太郎 治田敦 三條美紀



監督:清水崇 プロデューサー:一瀬隆重 脚本:清水崇・安達正軌 音楽:川井憲次
©2005「輪廻」製作委員会 www.j-horror.com

昭和45年。群馬県のホテルで、11人が殺された。 幼い少女まで犠牲となる、凄惨な事件。 動機は不明。犯人も謎の死を遂げる――。

物語

35年後、現代。

この事件に関わろうとする人々がいた。

事件の映画化に異様に固執する、謎に包まれた映画監督・松村（椎名桔平）。

異例の抜擢を受けヒロインを演じる、新人女優・渚（優香）。

靈感が強く、事件に興味を持ち、

次第に深く関わっていく女子大生・弥生（香里奈）。

松村や渚ら映画関係者は、リハーサルのため、事件現場である

ホテルに足を踏み入れる。ただならぬ気配に満ちあふれるホテル。

以来、渚は、不気味な幻覚を見るようになる。

そこにはいつも、殺された少女がいた。

一方、全国で行方不明者が続発する。

次々と姿を消す、何のつながりもないと思われる人々。

不明者の共通点は、年齢が35歳以下ということだけ。

弥生の友人も、突如、姿を消した。

「35年前、私はここで、首を絞めて殺された…」

姿を消す直前に残した謎の言葉。指示したのは、あのホテルだった。

姿を消した人々は、35年前の被害者の生まれかわりだというのか？

であれば、渚も生まれかわりなのか？ 一体、誰の？ あの少女？

渚が、弥生が、そして姿を消した人々が、始まりの場所“ホテル”に導かれる。さらに、松村もまた、このホテルに現れた。

過去の事件は終わっていないのか？

衝撃のクライマックスが、待っている!!!!

www.j-horror.com



優香 香里奈 椎名桔平

杉本哲太 小栗旬 松本まりか 小市慢太郎 治田敏 三條美紀

監督: 清水崇 プロデューサー: 一瀬重慶 脚本: 清水崇・安達正執 音楽: 川井憲次

エグゼクティブプロデューサー: 濱名一哉・小谷信、アソシエイトプロデューサー: 木藤幸江、撮影: 柴主高秀、照明: 渡部嘉、美術: 斎藤岩男、装飾: 松本良二、録音: 柿澤潔

サウンドエフェクト: 奥島滋治、音楽プロデューサー: 岩田次郎、編集: 高橋信之、視覚効果: 松本肇、特殊効果: 芹油秀一、特殊造型: 植井祐一、キャスティング: 山口正志、助監督: 安達正執

製作担当: 若林健介、ラインプロデューサー: 福島聰司、主題歌: 「輪廻」(ビクターエンタテインメント) 小説: 「輪廻」(大石圭(原川ホラー文庫))

製作: TBS Entertainment FARM/オズ/ジェネオンエンタテインメント/東宝/HG/MBS 製作プロダクション: オズ 配給: 東宝 ©2005「輪廻」製作委員会



公式モバイルサイトに携帯メールでアクセス
rinne@dwango.tv QRコードなら簡単アクセス!



生まれかわる俳優陣。

ヒロイン・渚を演じるのは、優香。明るく元気なイメージの強い彼女が、従来のイメージを覆し、テレビでは見ることのできない全く新しい姿を見せる。謎に迫る女・弥生を演じるのは、「深呼吸の必要」「天国の本屋～恋火」「演猿」と立て続けに映画出演を果たし、女優として常に成長を続ける、香里奈。そして謎を秘める映画監督・松村に、日本映画界を代表する演技派にして、意外にもホラー初挑戦の、椎名桔平が挑む。

自らの存在に隠された秘密。逃れる事のできない運命。

「サイコ」から45年、「リング」から8年。

新たな歴史を刻む、謎と恐怖の頂点「輪廻」。

さあ、どうぞ、あなたも、前世の謎を覗いてみて下さい。

2006年1月7日(土) 全国東宝系ロードショー!

VIRGIN TOHO CINEMAS 六本木ヒルズ
03(5775)6090

六本木ヒルズ・けやき坂コンプレックス 3F